

防災訓練で地震に備えを

9月1日、市内各地で、総合防災訓練が行われ、地震に対する訓練に取り組みました。
 ブラジル人学校エスコラコニエセル愛野では、地震発生後の火災発生を想定し、消火訓練や避難訓練を実施したほか、特別養護老人ホームデアコニアでは、災害時の要援護者の搬送・受け入れ訓練を実施。袋井南中学

校では、消防署員の指導により、男子生徒は、チェンソーやバールを使った救助器具の取り扱い訓練を、女子生徒は、AED、三角きんなどを使った応急救護訓練を行いました。
 各家庭でも、災害に備え、災害時の避難方法や家族の緊急連絡方法、非常持出品などについて確認しましょう。



江戸の文化を学ぶ

9月6日、月見の里学遊館で、地域づくり大学が行われました。
 「紙切りでたどる 江戸の文化!!」と題し、林家二楽さん（紙切り師）を講師に迎え、実際に紙切りに挑戦。「チョウ」と「ネコ」の2つのお題に、

参加者たちは、講師の指導に従って、真剣な面持ちでハサミを進めました。
 作品が完成すると一斉に掲げて、参加者同士で見せ合い、笑顔で感想を交わしていました。



ベトナム大使 袋井訪問

9月4日、ゲン・フー・ビン駐日ベトナム大使が、市を訪問しました。明治末期のベトナム独立運動の指導者を支援した袋井市出身の浅羽佐喜太郎の記念碑の建つ常林寺(梅山)で遺徳をしのびました。

市長や地域の皆さん約100人が出



迎え、懇談し、ベトナムとの友好を深めました。また、ベトナムについてのビデオ上映会も行われました。

◇「浅羽佐喜太郎記念碑の歴史」展示・上映会を行います。

日 10月27日(月)～11月2日(日)
所 月見の里学遊館



もろへんりょうがはる思い

9月10日～13日、小笠山総合運動公園(エコパ)で、「全日本学生フォーミュラ大会」が行われました。

今年で6回目を迎え、地元の静岡理工科大学をはじめ、韓国やインドなどの海外チームが参加し、学生たちが約1年間かけて製作した小型レーシングカーの企画・設計力、走行性能などを競い合いました。



カヌーに乗ってどろんでも

9月6日、市内の小学3・4年生40人が参加して、カヌー教室が行われました。

子どもたちは、パドルの使い方や水を上手にとらえて進む方法などを講師から教わると、まずは流れが緩やかなところで練習。その後、原野谷川親水公園北側から諸井橋上流までの約4キ



ロの川下りに挑戦しました。初めは、慎重にパドルをこいでいましたが、徐々に慣れてくると笑顔がこぼれ、気持ちよさそうに川を下っていました。また、水質検査や水生生物の観察なども行われ、身近な川の環境について考える機会となりました。

